

## 1. 活動の概要

6月13日(水)、雲南市立海潮小学校で『心に残る文化財子ども塾』を実施しました。国の史跡に指定されている加茂岩倉遺跡や日本遺産に認定されている菅谷たたらなど、雲南市にある文化財について、クイズを交えながら楽しく学習しました。

講座のあとは、実際に大東高校グラウンド遺跡から出土した土器や勾玉の未成品を見たり触ったりして、古代人の暮らしを体感しました。

2時間目は「勾玉づくり」にチャレンジしました。滑石をヤスリやサンドペーパーを使って削ります。がんばって磨きますが、時間が足りなくて完成品までできません。古代人の技術のすごさにあらためて感心しました。

## 2. 活動の様子



「クイズ！銅鐸は何に使ったでしょうか？」



「いろんな玉に触ってみよう」

## ②勾玉づくり体験



「勾玉作りに挑戦中です」

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから

- ・大東高校のグラウンド場でたくさんの土器や玉が見つかったことが、一番心に残った
- ・勾玉を作るときにとっても時間がかかった。
- ・今度は管玉を作って勾玉と糸に通してネックレスを作りたい。
- ・勾玉や管玉などの石の種類を調べてみたい。

#### 2) 担任の先生から

- ・地元の遺跡についての話が聞け、土器などの実物を見たり触ったりできた。
- ・勾玉づくりにもう少し時間がとれるよう、休憩時間や場所の移動など、工夫ができればよかった。

#### 3) 埋文センターから

実際に地元で出土した土器などに触れることで、古代のひとびとの暮らしがより身近に感じてもらえたのではないのでしょうか。

こうした学習活動をきっかけに、地域の歴史や文化財に興味・関心を持っていただけるとうれしいです。